

6 月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和 8 年 6 月 9 日(木)

午前 10 時 30 分～

地域交流センター第 3・4 研修室

出席委員 職務代理 小山正文 委員 高野羊子
委員 小松小百合

出席職員 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 尾台弘枝
筑北中学校長 大鷹宏彰 教育長 加瀬浩明
次長 宮下信俊 係長 森山正一 主任 高野智弘

一 開会(宮下教育次長)

令和 8 年 6 月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願いいたします。

二 教育長挨拶(加瀬教育長)

教 育 長: 梅雨入りになりました。今年は雨量が多いとの予報も出ています。大雨にかかわる災害は十分に注意が必要です。以前も話をしましたが、私が最終勤務をしておりました中学校は、床上浸水で机の引き出しの二段目まで水に浸かってしまいました。災害による被害を少しでも小さくするためには、避難場所や避難経路等を再度確認していただいて、子どもたちにとって被害が少しでも小さくなるような対応をとっていただくとありがたいです。非常用の持ち出し品や備品等についても確認をお願いします。周辺の側溝の清掃等もよろしくお願いします。水があふれるなども最小限に抑えられる可能性があります。建物がそれぞれ古くなっています。雨漏りの心配があります。状況を確認していただいて、早めにお知らせいただければありがたいです。

子どもたちの登下校に十分注意をお願いします。先ほどもクマの話が出ました。再度注意喚起をお願いします。それでは 6 月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

三 報告

1) 教育長報告

宮下次長: 報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

教 育 長: 先ほど話しがありましたが、教育大綱の見直しができるところであります。皆さんさん先ほどの資料を見直していただいて次回以降でも構いませんので出していただければと思います。また、諸条件ということでもありますので備品や設備や施設での要望があればよろしくお願いします。子どもたちの安全にかかわる部分で心配なところは情報を共有して対応ができるようにしていきたいと思います。

麻績村はいい村だと発信できる状況が我々としても必要だと思います。教育委員の皆さんから書いて出していただいていることに感謝申し上げます。いろいろな形で村民に発信できればと思います。我々もいろいろなことを考えていかなければならないと思ったところでもあります。

ICT については、いろいろ心配をされるようなことになってきています。発信したものが取り返しのつかないような状況になるので、学校でも対応していただいているかと思います。どちらかと言うと学校よりも心配なのは家庭であります。注意喚起をお願いします。心配なことがあれば我々に相談して対応していきたいと思います。振興公社とも契約していますので安心して使っていただければと思います。以上です。

宮下次長: 続いて子育て支援コーディネーター報告に移ります。

2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

高野 C O: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて保育園長報告に移ります。

塚原園長: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて小学校長報告に移ります。

尾台校長: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて中学校長報告に移ります。

大鷹校長: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それぞれからご報告いただきましたが、委員の皆様からご質問等ありますか。よろしいでしょうか。

小松委員： メタバースを活用した不登校支援事業説明会についてお願いします。
参加してどう思われましたか。

高野CO： 県教委が実施主体となっていますが、最後に紹介があってコア連携市町村を5市町村募集しています。コア連携市町村とは、県教委と共同しながら運営しませんかというものになります。市町村単独で実施するにはなかなか難しいので、県とのつながりの中で連携しながらできれば不登校支援もやり易くなるのかなと感じました。あと、利用者の実際の声というものがあって、外に出ることが難しかったり、人とのコミュニケーションが難しかったりという子が大半でした。名前も匿名だし、アバターを使うことによって相手とコミュニケーションできたり、仮想空間に行って交流できたりすることは、一つハードルを越えるための有効なツールなのではないかと感じました。

小松委員： この中には見守る人はいますか。

高野CO： 運営はカタリバが担っています。

小松委員： 保育園の優しいお部屋の利用状況はどうですか。

塚原園長： 一件だけありました。三歳児は最初興味を示しました。中に入って隠れたりしていました。年長児の女の子が友達とトラブルがあって悔しくてどうしようもない気持ちになったときに、「優しいお部屋があるよ」と伝えたら、「行く」と言って入りました。入った場合は必ず保育士が寄り添うようにしています。いろいろな活用の仕方があります。遊ぶ部屋ではないことを子どもたちに伝えていきます。

小松委員： 保護者にはどのように伝えてありますか。

塚原園長： お便りで全員に伝えていきます。今はICTで一斉配信されるので、登降園の際に打刻する場所の近くに掲示するところがあるので掲示しています。今まではただの段ボールでした。今年は段ボールをきれいにしました。一件事例はありましたが、自分で落ち着くことができて良かったなと感じています。

小松委員： 小学校の運動会を見させていただいて、子どもたちの生き生きした表情や活動が見られてとても楽しかったです。いろいろな工夫や組体操を

やっている後ろで低学年の子どもたちが真似している姿が良かったです。とにかく表情豊かで楽しくできていることが感じられて良かったです。先生方が楽しそうにやっているなど感じられました。そのような姿を子ども達も感じ取ってうれしくなるし、保護者や我々見ている側も微笑ましく感じられました。

中学では、先生方が村のことを知ろうとしてくださっていて、土地柄を知るとか文化そのものを知る時間を割いてくださっていることを有難く感じました。

四 報告・協議事項

(1) 教職員の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて (県教育委員会⇄村教育委員会)

教 育 長: 県教育委員会と市町村教育委員会で教職員の人事に関する了解事項というものがあります。事務局より説明をお願いします。

宮下次長: 長野県教育委員会と市町村教育委員会とで県の先生方の人事に関する取り交わしとなります。教職員の任免および進退についてならびに令和9年度教職員人事異動の基本方針について県教委と市町村教委とで覚書を取り交わすという内容です。この定例会で皆様方より異議がなければ人事に関する了解事項の取り交わしを行いたいと思います。毎年のことですが、定例会で諮ることが基本的事項となりますのでよろしくをお願いします。

教 育 長: 今採用は色々な方法があって、昔ほど単純ではなくなってきました。複雑な中で、これから校長先生は、いろいろな条件の中で考えていかなければなりません。特に中学校に関しては、教科で動くので非常に複雑で難しい状況にあります。これから苦労して決定していくわけです。

それでは、このような形で県に報告させていただきます。

五 その他

1) 各委員から

教 育 長: 委員の皆様から何かございましたらをお願いします。

高野委員: 梅雨に入って緊急時の体制についてお願いします。特に突然の雷雨の対応が心配です。具体的な対応策が分かりません。ゲリラ豪雨で道路が水で埋め尽くされていたことがありました。下校途中で歩いているお子

さんが心配です。民家があればその陰で落ち着くとか、自分で自分の身を守ることも、これからは考えていかなければならないと思いました。

保小中連携で子どもたちのために取り組みをされているとは思いますが、取り残されているのは保護者達です。今の状況で保護者同士が連携できているかと問われれば分かりません。PTA の活動について再検討していく必要があるのではないかと思います。現役の保護者に呼び掛けていきたいと思っています。子どもたちの為にも、今の一年間をやり繰りするのではなく、先を見据えたうえで考えていってほしいです。小中一貫教育で進めています、一貫校の選択肢はないのか先を見ながら考えられればと思います。

教 育 長: 義務教育学校にするかどうかということに関しては、これからの大きな選択ではあるかと思っています。ただ、現状で苦しいのは教員の確保になります。義務教育学校ですと小学校の免許と中学校の免許全てを持っていないといけません。先生を集めることが、苦しい状況に今なってきているところで、人員の確保といったところでは現状の方が集めやすいということです。

これから子どもたちの数が減っていくので、二つ学校を維持しているよりも一つにすれば当然、運営経費はかからないわけです。いろいろな選択肢があると思いますので、もう検討していかなければならない状況に来ているかと思っています。

小山職務代理: 先日地区懇談会があつて保育園の保護者から複数の要望がありました。大きな病気の場合は仕方ないのですが、ちょっとした鼻水が出たとか軽い症状の時の受け入れができないかという要望がありました。それなりのルールの中で保育園はやっていることは承知しています。要望があったということだけお伝えいたします。

小中学校の先生で高速通勤されている方がいるかと思いますが、高速代の一部を村で補助できないかなと思います。教育委員会だけでできる話ではないと思います。村の財政との問題があると思いますが、お話しさせていただきました。

大鷹校長: 距離 60 km が撤廃されて、時間が 1 時間半を超える場合検討するということで 1 時間は通勤圏内という考え方です。高速を使って 30 分程度短縮できればというところであります。ここは塩筑というエリアなのですが、塩尻から麻績に通っている人はほぼいません。県にもこの地域だけ特例でとお願いをしたことがあります。松本市内に行くより渋滞がなく、インターを降りてすぐに学校に行けるので最高の場所ではあります。

ただ今の規制では難しいです。

2) 事務局から

教 育 長: 事務局より連絡事項をお願いします。

宮下次長: 麻績村議会 6 月定例会での一般質問になります。4 番議員の宮下朗議員になります。質問事項 3 で ICT 関係の質問であります。整備状況、教職員間の知識格差などについての質問となります。現状の取組と学校への ICT 支援員の配置などこちらでお答えさせていただいております。

5 番議員の山口利江議員になります。放課後児童クラブの Wi-Fi 整備やシステム導入の質問となります。導入に向けて前向きに検討しますというところでお答えさせていただいております。

6 番議員の塚原利彦議員になります。質問要旨 3 の高校通学定期の補助金について購入前交付はできないのかという質問になります。現状では難しいということでご理解をいただくように話をしました。

7 番議員の刈間利恵議員になります。質問要旨 3 の学校等への防犯カメラ設備整備の考えという質問をいただいております。定例会でも話題にして検討している旨の回答をさせていただいております。一般質問については以上となります。

6 月 29 日小中学校コンサートについてであります。前日は公民館で音楽鑑賞会を予定しております。翌日アウトリーチコンサートということで、午前は小学校、午後に中学校を予定しています。大室晃子さんは麻績村に来るのはこれで 3 年目になろうかと思います。今年度はピアノソロコンサートとなります。例年は保護者にも案内を出していたのですが、前日鑑賞会を予定していますのでそちらで鑑賞していただければいいかなと考えています。

こども計画策定審議会の委員選定についてであります。子ども・子育て支援事業計画が令和 7 年度からスタートしたところであります。子ども・子育て支援事業計画を包括する市町村こども計画を策定予定となっています。

こども家庭庁で出しているこども大綱を網羅して県では長野県こども計画というものを作っています。国が定めるこども大綱と県のこども計画を勘案して市町村でこども計画を策定することが努力義務になっています。お諮りしたいのが計画の策定に委員から一名出したいところです。自薦他薦は問いません。

最後に、信濃毎日新聞社が新しい取り組みを始めました。地域新聞ということで地元の学校に何か協力できないかということで、学習支援サ

イトを立ち上げました。取り組みが広がっているようです。取材に基づいた記事を自由に授業や宿題に活用できるものになります。学校にも担当営業が説明に行くということなのでご承知おきください。

教 育 長: ひとつお話ししたいことがございます。小中学校で兼務していただいている津田先生ですが、現在小学校の免許を取得したいということで教育実習が始まっています。他の先生方からは個人の免許なので職務とは関係なく休んでいくべきではないかという声をお聞きしたということですが、教育委員会としては、津田先生には今兼務をしていただいているので免許を取得していただくことにメリットがあります。本人から実習の計画書や毎日の研修報告を提出していただきながら確認をとっています。個人の年休ではなくて研修を受けていただいていることと考えています。委員の皆さんからご承諾いただければそのように進めたいと思います。

ありがとうございます。津田先生には小中学校の免許を持っていたきたいと思いますのでこのような形で正式に進めたいと思います。

3) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程 7 月 30 日（木） 午前 9：30～

六 閉会

教 育 長: 以上をもちまして 6 月の定例教育委員会を閉じます。